

秋播き飼料用ライムギ栽培のご紹介

ライムギは耐寒性や耐雪性に優れるため、寒冷地や標高が高い地域での栽培に適しています。また、栽培地にもよりますがムギ類の中では晩秋まで播種が可能であり、早春から生育が良く収量性に優れた草種です。

秋播き飼料用ライムギの作型

栽培地	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	■							■	■	■
								■	■	■
寒高冷地	■	■	■						■	■
一般地		■	■	■				■		
西南暖地			■	■	■		■			

※飼料用ライムギの一般的な播種期と収穫期を示したもので、品種によっては表の記載と一致しないものがあります。



春一番【極早生】

早春の生育がよく、早期に収穫可能。東北地方でのトウモロコシの裏作や温暖な地域で春にできるだけ早くトウモロコシを播種したい場合に適する。
栽培適地：寒高冷地・一般地・西南暖地



春香【晩生】

春一番より出穂が10日ほど遅い。紅色雪腐病抵抗性に優れており、根雪が3か月以上の積雪地帯でも利用可能。分けつが多く、収量性に優れる。
栽培適地：北海道・寒高冷地



R-007（品種ウィーラー）【極晩生】

根菜類の大敵であるキタネグサレセンチュウを抑制。主に緑肥用として利用されるライムギ。耕畜連携でも利用されている。
栽培適地：北海道・寒高冷地・一般地・西南暖地

収穫適期は止め葉～出穂初期です。出穂以降は嗜好性が低下します。

雪印種苗株式会社

〒004-8531 北海道札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号 ☎(011)891-5911(代)・FAX(011)891-5920

<https://www.snowseed.co.jp/>

お問い合わせ 北海道研究農場 ☎(0123)84-2121 FAX(0123)82-6101
購読中止・住所変更など 北海道業務課 ☎(0155)62-7550 FAX(0155)62-4455

